

V 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記 該当なし

2. 重要な会計方針

(1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2)有価証券の評価基準及び評価方法

市場価額のない株式は、取得価額を採用している。

投資有価証券は、取得価額を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	157,082,461	0	0	157,082,461
投資有価証券	207,281,000	0	0	207,281,000
特定資産				
研究助成積立資産	11,500,000	0	2,000,000	9,500,000
合 計	375,863,461	0	2,000,000	373,863,461

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
普通預金	157,082,461	(157,082,461)	(0)	-
投資有価証券	207,281,000	(207,281,000)	(0)	-
特定資産				
研究助成積立資産	9,500,000	(9,500,000)	(0)	-
合 計	373,863,461	(373,863,461)	(0)	-

5. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
第117回利付国債(5年)	100,000,000	100,320,000	320,000
合 計	100,000,000	100,320,000	320,000

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替	9,000,000
研究助成積立金取崩額振替	2,000,000
合 計	11,000,000